

◆◆平成29年度 読書感想画・読書郵便作品展◆◆

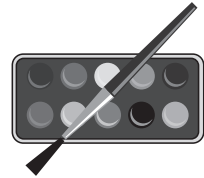
開催期間：12月24日(日)～平成30年2月2日(金)

秋の読書週間に四万十町内の小学生から応募のあった作品を展示します。

子どもたちの元気な作品をぜひご覧ください。

応募作品、全629点展示します！

【入館料】 無料



感想画 入選作品より

◆◆3館合同特別展 「高知の作家18人展」◆◆

開催期間：平成30年2月10日(土)～3月25日(日)

香美市立美術館、中土佐町立美術館、四万十町立美術館の3館で同時に開催するグループ展形式の企画展。3館でそれぞれ6名の作家に出展を依頼し、高知にゆかりのある合計18名の作家を紹介し

ます。四万十町立美術館では、それぞれの作家の作品を1点ずつ、18点を展示します。

スタンプラリーでプレゼント

開催期間中に3館(香美市立美術館、中土佐町立美術館、四万十町立美術館)を回り、スタンプラリーを達成すると、素敵な景品をプレゼントします。

【入館料】 一般 200 円(高校生以下無料)

身体障害者手帳(1級・2級)、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、長寿手帳に類するもの(運転免許証や保険証など)を提示する65歳以上の方は無料。

【休館日】 月曜日・祝日 ※最終日は午後4時までの開館

※開催期間、観覧料は美術館により異なります。

ちよっぴり

図書館へ新しく入った本の中からご紹介

本館

自分を休ませる練習

矢作直樹 著 / 文響社

最近、ゆっくり休めていますか？
がんばらなくちゃと、からだに心に無理をさせてしまう生活が当たり前になっていませんか？救急医療の現場にいた医師が、ストレスを抱える人へ、ありのまま暮らすコツを紹介しています。



分館

開運&幸せを呼びこむ おみくじ集め ハンドブック

監修 / 八木透 辰巳出版

引いて楽しい、見て楽しい。動物のおみくじや変わり種のおみくじなど、ご利益とかわいいおみくじがもらえる神社50を紹介。おみくじの「いろは」や寺社にまつわる基礎知識も掲載。コピーして使えるおみくじ帳付き。



図書館に新しく入った本のリスト(最新号)を
四万十町役場のホームページより見るできるようになりました！ご利用ください。



■開館時間

図書館 / 午前 9:30～午後6:00 (日曜 午前 9:00～午後5:00)
美術館 / 午前10:00～午後5:30 (日曜 午前10:00～午後4:30)

■休館日 / 月曜・祝日

四万十町立図書館・美術館 ☎22-5000
四万十町立図書館 大正分館 ☎27-1193

美術館・図書館からのお知らせ

地域おこし協力隊が行く！

皆さん、こんにちは。四万十町では現在23人の地域おこし協力隊員が活動しています。
今回は、熊澤、宮武、岩垂の様子を報告します。

こんにちは、十和地区担当の熊澤です。この春から四万十町に移り住んでもう半年以上経ちました。自分でも川沿いでの生活に馴染んできたように思います。

さて、私のミッションの1つで春はお茶刈りの研修がありました。一番茶の収穫はきちんと管理の行き届いた園地でしたが、もう1つの研修として荒れた園地の管理があります。これが想像以上に大変で、繰り返し生えてくるワラビや、強靱な竹がお茶の内側から生えていて、きれいな園地にするにはとても時間がかかる作業でした。こういった作業をした上で、美味しいお茶があるということを知っていくと、お茶の見方が変わっていき、少しずつ面白くなってきました。

これから始まる栗の研修でもお茶と同じように、普段見えない魅力をしっかり見つけていきたいと思っています。



こんにちは、窪川地区担当の宮武敢司です。私は普段窪川地区の3つのサッカーチームに所属する子どもたちにサッカーを指導しています。先日影野小学校の体育の授業でサッカーを指導させていただきました。影野小学校の子どもたちの中には数人サッカー経験者がいましたが、ほとんどが初心者で最初はボールを怖がる子どもや、興味のない子どもも少なくありませんでした。しかし指導を実施した3日間の最終日に試合形式を行い、みんなが楽しそうに必死にボールを追いかけている姿を見て嬉しく思いました。

サッカーが好きな子に、もっと好きになってもらうことは簡単なのかもしれません。しかし今回の体育でのサッカー指導で、サッカーに興味のない子にも好きになってもらうことの難しさや、好きになってもらえた時の喜びを実感できてよかったです。これからも四万十町の多くの子どもたちがサッカーに興味を持ち、サッカーを好きになってもらえるような活動を行い、裾野を広げることができればと思っています。

こんにちは。町営塾「じゅうく。」の岩垂です。外から見える景色が冬の訪れを感じます。

さて、冬といえば駅伝やマラソンです。今回はそのことについて話したいと思います。僕は、昨年10月に四万十川ウルトラマラソン100キロの部に出場し、無事完走しました。100キロは僕の中での最長距離で、何度も膝の痛みとの闘いでしたが、町民の方々の声援やボランティアの方たちの支えで走りきりました。

走った後、改めて自分は「走ることが好きだ」ということ、そして、「周囲の支えの中で自分は生きているのだ」と走る前までは思ってもいなかった感情が芽生えました。何かにチャレンジし、新たな自分と出会う。人生はその繰り返しだと思います。もっと多くのチャレンジをしたいと思っていますし、限られた時間の中でその経験を四万十町でしていきたいと思っています。



石井 創
小沢 隆一郎
笹倉 潤
神野 紗也
井原 理恵
福田 圭帆
宮武 敢司
今井 深暉
野村 一将
小林 玲央
松本 千花
立花 聡子

大塚 智裕
小野 雄介
熊澤 正太
浦島 卓也
鈴木 信太郎
森脇 瑞穂
岸 豊
菊池 祐
加瀬 菜由
岩垂 桂也
山田 雅弘